

経営比較分析表（令和2年度決算）

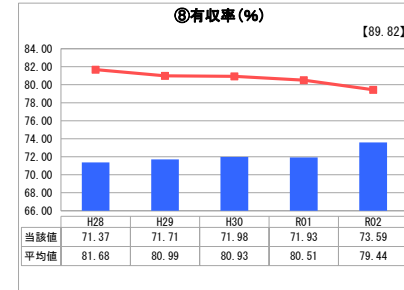
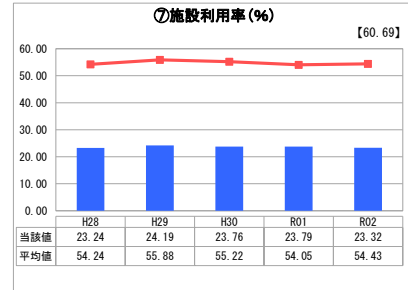
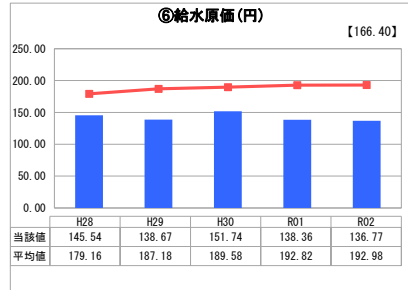
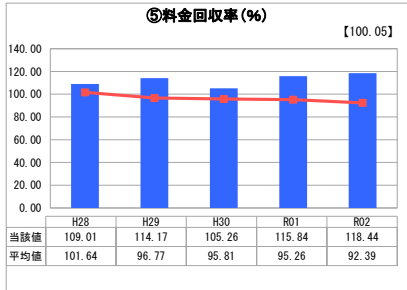
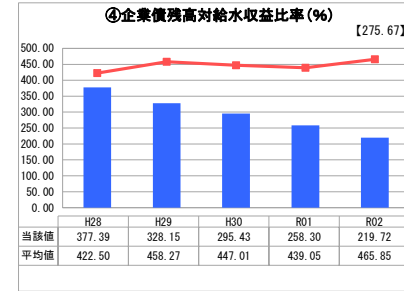
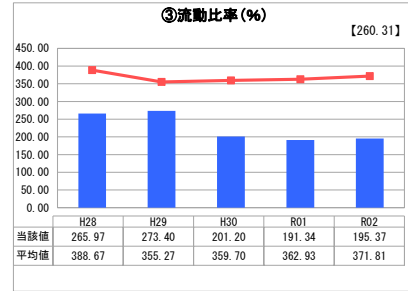
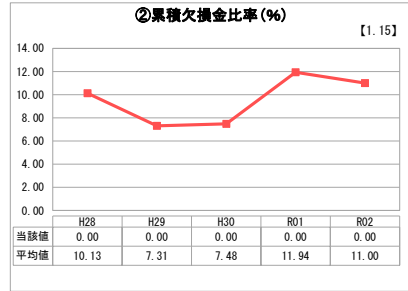
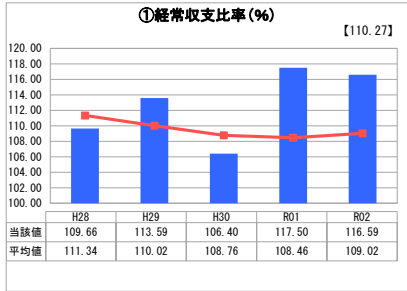
青森県 六ヶ所村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	その他
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)	
-	89.36	100.68	3,069	

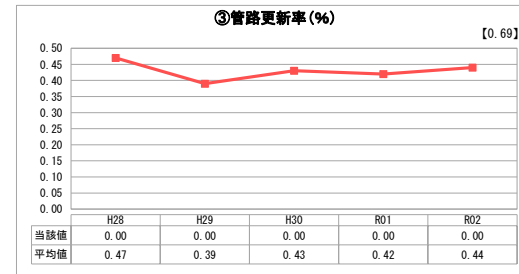
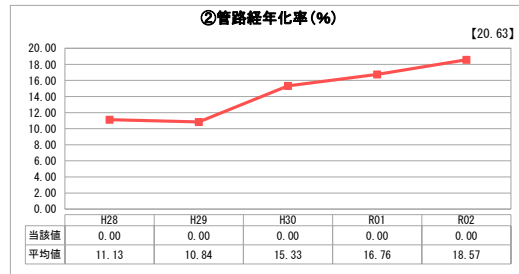
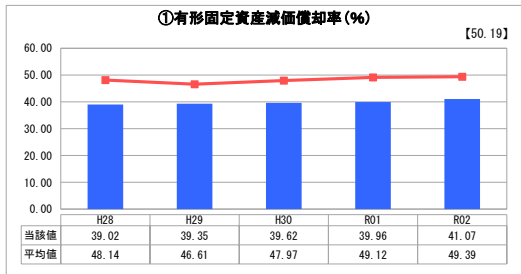
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
10,131	252.68	40.09
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
10,168	119.83	84.85

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、100%を超えており、給水収益により概ね経費を賄うことが出来ているが今後も経費削減に取り組み財源確保維持できるよう経営していく。
- ② 累積欠損金比較は、0%であり類似団体と比較しても非常に少ないことから、経営の健全性等に及ぼす影響がないものと考えているが将来を見据えながら取り組んでいく。
- ③ 流動比率は、100%以上であるため短期的な債務に対する支払い能力は安定した経営ができていると言えます。
- ④ 企業債残高対給水収益比率については、右下がり減少しており類似団体と比較すると減少傾向である。
- ⑤ 料金回収率は、100%を超えており給水収益により概ね賄うことが出来ている。
- ⑥ 給水原価は、類似団体と比較しても低い。今後も維持できるよう維持管理費の削減等といった検討をしていく。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体と比較して20%台と低く使用率の改善が課題である。改善するにあたり需要の上昇は期待できず、施設更新時に統廃合及びダウンサイジングを検討する必要がある。
- ⑧ 有収率は類似団体と比較しても低く、収益に結びつけるよう漏水等の調査で原因を特定し、さらにメータ故障などの対応を行い有収率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

- ◆有形固定資産減価償却費率は類似団体と比較しても低い現状である。耐用年数等を踏まえ計画的に適正な更新を行なう準備をしておく。
- ◆管路経年化率は類似団体と比較しても低い状況であり、更新時期が到来した際の資金面の準備をしておく。
- ◆管路更新率は類似団体と比較しても低い。今後管路の更新を行って行く際、財源を考慮し計画的に更新を行なう予定である。

全体総括

- ◆施設利用率が低いため、需要の動向を確認し、施設更新時には統廃合及びダウンサイジングを検討していく必要がある。
- ◆有収率の低下が今後も懸念されることから、経営の観点から収益に結びつけるために漏水調査及びメータ故障の交換を実施し有収率の向上を図るための対策を進めていく。